**アンケート・ピックアップ**

**11月25日　吉岡精工株式会社　代表取締役社長　吉岡　優　氏**

**問1　学んだこと、印象に残った言葉・エピソード・メッセージなど**

　一社依存体質からの脱却に関するお話を聞くことができて非常に面白かったです。顧客が１つのままだったら、度重なるショックを受けて倒産してしまっていたかもしれないと感じました。やりがいのある会社に変えていくという精神が、事業の多角化を導いたのだと思います。（経営学部経営学科1年）

大企業は研究設備が整っているので開発という点に関してな有利であると思いましたが、中小企業は各々のニーズに柔軟に対応できる力があると知りました。ただやはり時代や文化は変わっていくので中小企業のようなものづくりの企業はただの技術者ではなく、コミュニケーション能力が高かったり柔軟な人材を求めてることがわかりました。(経営学部 経営学科 3年)

今までの講義では自分で会社を立ち上げた方が多かったため、親の立ち上げた会社を継ぐという形でベンチャー企業を経営されている方のお話はあまり聞いた事が無かったため、２代目ならではの苦悩などが聞くことができて良かった。時代の流れに沿って、外部環境へ常にアンテナを張ることが大切なのだと感じた。従来のやり方を続けていくことは楽だがやりがいを感じないと言うことを聞いて、仕事というのはやはりやりがいを感じることが大切なのだと思った。吉岡精工の競合となる会社が日本にどれくらいあるのか、という話をもう少し聞きたかった。　　　（経営学部　経営システム学科　１年）

求める人材、成長する人材理想像のお話が興味深かったです。コミュニケーション能力、環境変化への適応能力、目標をもって行動する力、この三つの能力は仕事に限らず人間関係などをうまくやっていくために必要不可欠だと思いました。(経営・経営システム１年）

今回下請け会社が自社ブランドを構築して進化していく過程を詳しく学ぶことができ、とても勉強になりました。適当に商品にかっこいい名前を付ければブランドになる訳ではなくそもそも内部環境を大きく変化させなければブランドのある会社になれないというのは考えてみれば当たり前のことですが実際に経験のある吉岡さんの話は非常に説得力がありました。また中国への進出の際に上海にしぼりあまり大きく拡大しなかったというのはなるほどと思いました。一般的に海外進出と聞くと、ドーンっと一気に広い範囲に拡大することがイメージされますが当然リスクが伴うのでこのようにうまくリスクコントロールをすることも大事だと思いました。（経済学部　国際経済学科　１年）

「３つのショック」をきっかけに、会社をいい方向に変えていったというエピソードから人生で最悪の出来事は自分を成長させるというフレーズを思い出しました。会社に訪れた３つの危機から内部環境を改善し、外部環境時代がどのように変化しても影響が少なくなるよう会社を強化したということで会社とは本当に人間そのもののようだなと思いました。（経営/国際経営１年）

**問2今後の学びやアクションに繋げたいこと**

　今回の話を聞いて、私は環境が自分を作るという考えに甘んじているなと感じました。しかしこれからは、吉岡さんのように、環境がどうあれ、それらに影響を受けない自分を作ることが必要だなと思いました。これからは、自分が環境を作るという強い気持ちを持って生活をしていきたいという発見がありました。（経営/国際経営１年）

「良き日本文化を伝授（察する、汲み取る、配慮する）」というお話に際して、それはビジネスにおいてだけでなく人と関わるということ全般において心がけるべきことであり、自身の人間関係づくりや成長に役立つものだと感じたので、よく相手を見てよく考えて行動する事が大切だと思いました。そして、求められる人材の条件にも挙げられていたように気付きを学びに変えていけるように努めたいと思います。（経営学部　経営学科　１年）

自分で会社を変えていくという強い意志や積極性が成功につながると思った。自分も大学４年間で学問に限らず積極的に様々なイベントなどに参加して経験を積んでいきたいと思った。今後自分達の世代が社会に出るときには必ず海外と接点があると思った。大学４年間のうちに異文化に接する機会を増やしていき、英語と中国語を中心に外国語の勉強をしようと思った。　　（経営学部　会計・情報学科　１年）

　他国の文化を知るということはもちろん、言語を操ることはは必要だがビジネスをする際相手国の文化、風習が分からなければニーズが分からない。ニーズが分からないと商品も売れない、それゆえ今私は多くの留学生と触れ合う機会がある。話すだけでもいろんな国の文化に触れることができると思います。そのような活動をこれから増やしていきたいです。(経営学部 会計 情報学科 1年)

授業スタッフの感想

　アプローチの仕方を工夫し、自身の発する言葉、する行動が自身の周りを作っているのだと実感し、言動を意識的に気を付けるようにしていきたいです。